資料3－２

**令和7年度に向けた外国人医療体制整備事業の方向性（案）について**

* **令和6年度実施事業（継続）**
* 「多言語遠隔医療通訳コールセンター設置・運営の拡充事業（フランス語の追加と動画通訳）」や「外国人受入れワンストップサービス相談窓口設置・運営事業」など、これまで実施してきた事業については、令和7年度についても継続実施を検討。
* **令和７年度に向けて検討するポイント**

**（R6.7.31外国人患者受入れ拠点医療機関・地域拠点医療機関連絡調整会議での意見より）**

* **各病院での役割について**

（意見）

緊急性の低い患者であるにも関わらず、拠点医療機関に来院される現状があり、地域のプライマリーケアの病院から紹介状が増えていることから、あらためて周知・指導を行ってほしい。

* **研修について【外国人患者の受入れ】**

（意見）

外国人患者受入れに際して研修を行っている医療機関やOJTの中で研修を行っている医療機関もあるが、教育まで手が回らない現状があるのではないか。

* **外国人患者を受入れる医療機関同士の意見交換の場について**

（意見）

今も医療機関においては、小規模なコミュニティにおいて、医療コーディネーター同士で情報交換を行っていただいているところ。このような情報交換を行うことは有効であるものの、全圏域では広がっていない。

* **未収金対策について**

（意見）

大阪府で未収金にかかる補填事業の検討はあるのか。